

**平成26年度木津川市一般会計
補正予算第2号について（概要）**

総務部財政課

平成26年度補正予算第2号は、国や府の制度改正への対応や、制度を活用した施策の充実を図るための予算、また予算の執行計画や財源計画の見直し、その他次年度以降に備えた予算などを計上するものである。

予算案の主な概要

1 補正予算の規模

補正前	268億4,643万3,000円
補正額	2億2,002万8,000円（0.8%増）
補正後	270億6,646万1,000円

2 予算の内容

【主な歳入】

◎地方交付税

普通交付税 1億8,163万3,000円増

◎国庫支出金

公立学校施設整備費国庫負担金 652万2,000円増

社会保障・税番号制度システム整備事業費国庫補助金
903万3,000円増

学校施設改善交付金（小学校費） 2,566万6,000円増

学校施設改善交付金（中学校費） 258万9,000円増

◎府支出金

京都府緊急雇用対策事業補助金（住まい対策拡充等支援分）
297万9,000円増

休日総合がん検診支援事業費府補助金 61万円

野生鳥獣被害総合対策事業費府補助金

1, 581万1, 000円増

農業用施設災害復旧費府補助金

8, 294万6, 000円

◎諸収入

農業中間管理事業費受託事業収入 206万2, 000円

◎市債

防犯灯整備事業債 1, 290万円

臨時財政対策債 △2, 794万7, 000円減

農業用施設災害復旧事業債 810万円

【主な歳出】

◎国・府の制度改正、施策の充実

社会保障・税番号制度対応システム改修（基幹業務システム維持管理事業費） 1, 495万7, 000円増

生活困窮者自立支援事業費 298万円

予防接種事業費 4, 076万4, 000円増

農地中間管理事業費 185万9, 000円

◎制度を活用した施策の充実

京力農場プラン作成事業費 77万円増

有害鳥獣対策事業費 2, 430万7, 000円増

◎予算執行計画の見直し

小中学校児童生徒学校行事等バス借上料（小学校・中学校教育振興事業費、木津中学校・木津第二中学校・泉川中学校・山城中学校・木津南中学校 各学校教育振興事業費） 733万2, 000円増

市内遺跡発掘調査事業費 211万1, 000円増

◎次年度以降に備えて

小中学校児童生徒数増加対応備品購入（木津小学校・梅美台小学校管理事業費、梅美台小学校教育振興事業費、木津南中学校管理事業費）

1, 468万7, 000円増

◎災害復旧

農業用施設災害復旧事業費 9, 318万1, 000円増

平成26年度一般会計補正予算第2号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	民生費	項	社会福祉費	目	社会福祉総務費
所 管	市長公室 人事秘書課					
事 業	573	職員給与費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	7章3【まちづくりへの参画と協働の創造】 新たな行政経営の展開と財政基盤の強化					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	182,684					182,684
補正額	2,144		2,143			1
補正後	184,828		2,143			182,685
補正予算額の 主な内訳	非常勤嘱託職員報酬:1,866千円皆増、社会保険料:278千円皆増 生活困窮者自立支援モデル事業の実施に伴い相談支援員1名、就労支援員1名を雇用する。					
主な特定財源	京都府緊急雇用対策事業費補助金(住まい対策拡充等支援分):2,143千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	職員給与等					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	民生費	項	社会福祉費	目	社会福祉総務費
所 管	保健福祉部 社会福祉課					
事 業	3610	生活困窮者自立支援事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	3章2【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】 ともに支え合う地域福祉の充実					
事業期間				新規・継続		新規
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前						
補正額	836		836			
補正後	836		836			
補正予算額の 主な内訳	普通旅費:563千円皆増、消耗品費:50千円皆増、通信運搬費:50千円皆増、有料道路通行料30千円皆増、庁用備品購入費:143千円皆増 生活困窮者自立支援法が平成27年4月に施行されることから、モデル事業として、生活困窮者に対して自立相談支援を行う。					
主な特定財源	京都府緊急雇用対策事業費補助金(住まい対策拡充等支援分):836千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し自立相談支援を行う。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

平成26年度一般会計補正予算第2号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	民生費	項	児童福祉費	目	放課後児童健全育成事業費
所 管	保健福祉部 子育て支援課					
事 業	1217	放課後児童健全育成事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	4章1 【豊かな心を育む教育・文化の創造】 子どもを安心して産み健やかに育てられる環境づくり					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	71,153		37,983		18,708	14,462
補 正 額	10,564					10,564
補 正 後	81,717		37,983		18,708	25,026
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	設計委託料:10,564千円皆増 第2梅美台児童クラブ(建替え)及び第3州見台児童クラブ(新築)を整備する。 第2梅美台児童クラブ:5,984千円、第3州見台児童クラブ4,580千円					
主 な 特 定 財 源						
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	放課後等に小学生の適切な遊びや生活の場を確保し、健全育成を図る。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

科 目	款	衛生費	項	保健衛生費	目	予防費
所 管	保健福祉部 健康推進課					
事 業	1305	予防接種事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	3章2 【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】 ともに支え合う地域福祉の充実					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	207,095		516			206,579
補 正 額	40,764					40,764
補 正 後	247,859		516			247,343
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	消耗品費:21千円増(227千円)、医薬材料費:22,259千円(126,510千円)、通信運搬費:566千円増(763千円)、審査手数料:12千円増(408千円)、予防接種委託料17,906千円(118,342千円) ・平成26年10月から定期予防接種(乳幼児の水痘、高齢者の成人用肺炎球菌)が追加されたことに伴い、関連経費(問診票、ワクチン、個別通知郵送代、審査手数料、予防接種委託料)について、所要の補正を行う。 ・インフルエンザ対策行動計画の策定に合わせて、また冬場におけるインフルエンザの流行等に備え、マスク(400枚)及び消毒液(260本)を購入する。					
主 な 特 定 財 源						
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	市民の疾病予防及び公衆衛生の向上を図る。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

平成26年度一般会計補正予算第2号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	衛生費	項	保健衛生費	目	予防費
所 管	保健福祉部 健康推進課					
事 業	1317	総合がん検診事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	3章2【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】ともに支え合う地域福祉の充実					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	136,877	6,828			2,992	127,057
補正額	819		610			209
補正後	137,696	6,828	610		2,992	127,266
補正予算額の 主な内訳	電算処理委託料:819千円増(4,587千円) がん検診推進事業(国庫補助事業)の対象者拡大に伴う無料クーポン券発行のための電算システム改修を行う。					
主な特定財源	休日総合がん検診支援事業費府補助金:610千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	がんの早期発見、早期治療によりがん死亡の減少に結びつくよう検診を実施する。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業委員会費
所 管	建設部 農政課					
事 業	1517	農業委員会活動事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	2章2【地域力を活かした産業・事業の創造】地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	8,779		1,318			7,461
補正額	122		411			△ 289
補正後	8,901		1,729			7,172
補正予算額の 主な内訳	消耗品費:22千円増(379千円)、通信運搬費:100千円皆増 農地中間管理事業の推進に関する法律に基づき、耕作放棄地において農地利用意向調査を行う。					
主な特定財源	農地制度実施円滑化事業費府補助金:411千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	農業の有効利用と担い手の育成、農地の利用集積の促進、耕作放棄地の解消、計画的な土地利用の推進、優良農地の確保を図る。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

平成26年度一般会計補正予算第2号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
所 管	建設部 農政課					
事 業	3608	農地中間管理事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	2章2【地域力を活かした産業・事業の創造】地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築					
事業期間	平成26年度から			新規・継続		新規
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前						
補正額	1,859				1,857	2
補正後	1,859				1,857	2
補正予算額の 主な内訳	調査員謝礼:645千円皆増、普通旅費:273千円皆増、消耗品費:704千円皆増、印刷製本費:200千円皆増、通信運搬費:37千円皆増 農地中間管理事業の推進に関する法律に基づき、京都府知事から農地中間管理機構として指定を受けた公益社団法人京都府農業支援センターからの委託を受け、農地集積コーディネーターの設置、農用地利用配分計画原案等の作成を行う。					
主な特定財源	農地中間管理事業費受託事業収入:1,857千円					
政策を必要とする背景及び提案の経緯	農地管理機構からの委託を受け、農地の利用集積の促進、耕作放棄地の解消、計画的な農地利用の促進等を図る。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費
所 管	建設部 農政課					
事 業	3483	有害鳥獣対策事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	2章2【地域力を活かした産業・事業の創造】地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	19,949		10,802			9,147
補正額	24,307		15,811			8,496
補正後	44,256		26,613			17,643
補正予算額の 主な内訳	消耗品費:130千円増(630千円)、通信運搬費:117千円皆増、バッファゾーン整備事業委託料:2,400千円増(3,600千円)、木津川市有害鳥獣対策協議会負担金:21,660千円増(33,395千円) 有害鳥獣による農作物被害が増加傾向にあり、早急な取組みが必要なことから、鳥獣被害防除施設(柵)の当初整備計画を3kmから10kmに拡大し、農作物被害の軽減を図るため、所要の補正を行う。					
主な特定財源	野生鳥獣被害総合対策事業費府補助金:15,811千円					
政策を必要とする背景及び提案の経緯	農林作物を食い荒らす野生鳥獣を捕獲して、被害を軽減することにより、農林作物の生産安定化を図る。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

平成26年度一般会計補正予算第2号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	土木費	項	土木管理費	目	建築指導費
所 管	総務部 危機管理課					
事 業	3574	被災者住宅等支援事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	3章2 【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】 ともに支え合う地域福祉の充実					
事 業 期 間	平成25年度から			新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	1,997		1,331			666
補 正 額	222		148			74
補 正 後	2,219		1,479			740
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	被災者住宅等支援補助金:222千円増(2,219千円) 平成25年台風18号の被害に係る地域再建被災者住宅等支援事業補助金を申請に基づき交付(1件)するため、 所要の補正を行う。					
主 な 特 定 財 源	京都府地域再建被災者住宅等支援補助金:148千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	生活基盤となる住宅等に被害を受けた方が、早期に安定した生活を取り戻すことができるよう住宅等支援補助金 を支給する。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

科 目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路新設改良費
所 管	建設部 建設課					
事 業	1777	木津山田川線道路改良事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	5章1 【連携を強め地域を支えるネットワークの創造】 道路交通ネットワークの整備・充実					
事 業 期 間	平成18年度～平成26年度			新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	107,546	48,400	12,645	36,900		9,601
補 正 額	2,074					2,074
補 正 後	109,620	48,400	12,645	36,900		11,675
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	測量委託料:270千円皆増、土地購入費:1,804千円皆増 市道335号木津山田川線の歩道整備(木津町内垣外地内)に伴い、所要の補正を行う。					
主 な 特 定 財 源						
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	木津山田川線の自歩道の整備を行うことにより、公共施設へのネットワーク形成を図る。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

平成26年度一般会計補正予算第2号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	教育費	項	小学校費	目	学校管理費
所 管	教育部 学校教育課					
事 業	2037	木津小学校管理事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	4章2【豊かな心を育む教育・文化の創造】一人ひとりの子どもの可能性を伸ばす教育の充実と地域連携					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	19,173					19,173
補正額	677					677
補正後	19,850					19,850
補正予算額の 主な内訳	学校備品購入費:677千円増(1,153千円) 平成27年度において児童数の増加に伴うクラス数の増(2クラス)が見込まれることから、学校備品(児童机・椅子)を購入する。学校保有備品で不足する分の購入費用の補正を行う。					
主な特定財源						
政策を必要とする 背景及び 提案の経緯	小学校の管理運営					
市民参加 の状況						
将来にわたる 効果等						

科 目	款	教育費	項	小学校費	目	学校管理費
所 管	教育部 学校教育課					
事 業	2057	梅美台小学校管理事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	4章2【豊かな心を育む教育・文化の創造】一人ひとりの子どもの可能性を伸ばす教育の充実と地域連携					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	23,803					23,803
補正額	10,400					10,400
補正後	34,203					34,203
補正予算額の 主な内訳	修繕料:76千円増(1,002千円)、事務機器等賃借料:39千円増(307千円)、学校備品購入費:10,285千円(11,180千円) 平成27年度において児童数の増加に伴うクラス数の増(4クラス)が見込まれることから、学校備品(児童用机・椅子等)を購入する。また、グラウンド排水用U字溝撤去費用及び故障等に伴う教師用共用パソコンのリース料について、所要の補正を行う。					
主な特定財源						
政策を必要とする 背景及び 提案の経緯	小学校の管理運営					
市民参加 の状況						
将来にわたる 効果等						

平成26年度一般会計補正予算第2号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	教育費	項	小学校費	目	教育振興費
所 管	教育部 学校教育課					
事 業	2113	梅美台小学校教育振興事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	4章2【豊かな心を育む教育・文化の創造】一人ひとりの子どもの可能性を伸ばす教育の充実と地域連携					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	3,053					3,053
補正額	539					539
補正後	3,592					3,592
補正予算額の 主な内訳	教材用備品購入費:539千円増(1,399千円) 平成27年度において児童数の増加に伴うクラス数の増(4クラス)が見込まれることから、教材用備品(絵画乾燥棚等)を購入する。					
主な特定財源						
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	地域や学校の実態を十分配慮した教育目標を設定し、家庭や地域から信頼される学校づくりを目指す。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	教育費	項	小学校費	目	教育振興費
所 管	教育部 学校教育課					
事 業	3338	教育振興事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	4章2【豊かな心を育む教育・文化の創造】一人ひとりの子どもの可能性を伸ばす教育の充実と地域連携					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	8,485					8,485
補正額	1,254					1,254
補正後	9,739					9,739
補正予算額の 主な内訳	バス借上料:1,254千円(3,862千円) 平成24年4月に発生した高速ツアーバス事故等を受け、国土交通省が貸切バスの運賃制度を抜本的に見直したことに伴い、時間・キロ併用制運賃制度が適用されることから、学校行事等に使用するバスの借上料について、所要の補正を行う。					
主な特定財源						
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	学校教育の充実を図る。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

平成26年度一般会計補正予算第2号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	教育費	項	中学校費	目	学校管理費
所 管	教育部 学校教育課					
事 業	3466	木津南中学校管理事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	4章2【豊かな心を育む教育・文化の創造】一人ひとりの子どもの可能性を伸ばす教育の充実と地域連携					
事業期間	平成23年度から			新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	20,885					20,885
補正額	3,186					3,186
補正後	24,071					24,071
補正予算額の 主な内訳	学校備品購入費:3,186千円(3,764千円) 平成27年度において生徒数の増加に伴うクラス数の増(2クラス)が見込まれることから、学校備品(生徒用机、椅子等)を購入する。学校保有備品で不足する分の購入費用の補正を行う。					
主な特定財源						
政策を必要とする背景及び提案の経緯	中学校の管理運営					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	教育費	項	中学校費	目	教育振興費
所 管	教育部 学校教育課					
事 業	2197	木津中学校教育振興事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	4章2【豊かな心を育む教育・文化の創造】一人ひとりの子どもの可能性を伸ばす教育の充実と地域連携					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	5,264					5,264
補正額	1,303					1,303
補正後	6,567					6,567
補正予算額の 主な内訳	バス借上料:1,303千円増(3,664千円) 平成24年4月に発生した高速ツアーバス事故等を受け、国土交通省が貸切バスの運賃制度を抜本的に見直したことに伴い、時間・キロ併用制運賃が適用されることから、学校行事等に使用するバスの借上料について、所要の補正を行う。					
主な特定財源						
政策を必要とする背景及び提案の経緯	地域や学校の実態を十分配慮した教育目標を設定し、家庭や地域から信頼される学校づくりを目指す。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

平成26年度一般会計補正予算第2号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	教育費	項	中学校費	目	教育振興費
所 管	教育部 学校教育課					
事 業	2201	木津第二中学校教育振興事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	4章2【豊かな心を育む教育・文化の創造】一人ひとりの子どもの可能性を伸ばす教育の充実と地域連携					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	6,073					6,073
補正額	1,203					1,203
補正後	7,276					7,276
補正予算額の 主な内訳	バス借上料:1,203千円増(3,155千円) 平成24年4月に発生した高速ツアーバス事故等を受け、国土交通省が貸切バスの運賃制度を抜本的に見直したことに伴い、時間・キロ併用制運賃制度が適用されることから、学校行事等に使用するバスの借上料について、所要の補正を行う。					
主な特定財源						
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	地域や学校の実態を十分配慮した教育目標を設定し、家庭や地域から信頼される学校づくりを目指す。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	教育費	項	中学校費	目	教育振興費
所 管	教育部 学校教育課					
事 業	2205	泉川中学校教育振興事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	4章2【豊かな心を育む教育・文化の創造】一人ひとりの子どもの可能性を伸ばす教育の充実と地域連携					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	4,621					4,621
補正額	1,158					1,158
補正後	5,779					5,779
補正予算額の 主な内訳	バス借上料:1,158千円増(3,035千円) 平成24年4月に発生した高速ツアーバス事故等を受け、国土交通省が貸切バスの運賃制度を抜本的に見直したことに伴い、時間・キロ併用制運賃制度が適用されることから、学校行事等に使用するバスの借上料について、所要の補正を行う。					
主な特定財源						
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	地域や学校の実態を十分配慮した教育目標を設定し、家庭や地域から信頼される学校づくりを目指す。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

平成26年度一般会計補正予算第2号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	教育費	項	中学校費	目	教育振興費
所 管	教育部 学校教育課					
事 業	2209	山城中学校教育振興事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	4章2【豊かな心を育む教育・文化の創造】一人ひとりの子どもの可能性を伸ばす教育の充実と地域連携					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	3,314					3,314
補正額	713					713
補正後	4,027					4,027
補正予算額の 主な内訳	バス借上料:713千円増(1,869千円) 平成24年4月に発生した高速ツアーバス事故等を受け、国土交通省が貸切バスの運賃制度を抜本的に見直したことに伴い、時間・キロ併用制運賃制度が適用されることから、学校行事等に使用するバスの借上料について、所要の補正を行う。					
主な特定財源						
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	地域や学校の実態を十分配慮した教育目標を設定し、家庭や地域から信頼される学校づくりを目指す。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	教育費	項	中学校費	目	教育振興費
所 管	教育部 学校教育課					
事 業	3339	教育振興事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	4章2【豊かな心を育む教育・文化の創造】一人ひとりの子どもの可能性を伸ばす教育の充実と地域連携					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	6,388					6,388
補正額	180					180
補正後	6,568					6,568
補正予算額の 主な内訳	バス借上料:180千円増(1,614千円) 平成24年4月に発生した高速ツアーバス事故等を受け、国土交通省が貸切バスの運賃制度を抜本的に見直したことに伴い、時間・キロ併用制運賃制度が適用されることから、学校行事等に使用するバスの借上料について、所要の補正を行う。					
主な特定財源						
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	学校教育の充実を図る。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

平成26年度一般会計補正予算第2号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	教育費	項	中学校費	目	教育振興費
所 管	教育部 学校教育課					
事 業	3467	木津南中学校教育振興事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	4章2【豊かな心を育む教育・文化の創造】一人ひとりの子どもの可能性を伸ばす教育の充実と地域連携					
事業期間	平成23年度から			新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	6,039					6,039
補正額	1,521					1,521
補正後	7,560					7,560
補正予算額の 主な内訳	バス借上料:1,521千円増(3,989千円) 平成24年4月に発生した高速ツアーバス事故等を受け、国土交通省が貸切バスの運賃制度を抜本的に見直したことに伴い、時間・キロ併用制運賃制度が適用されることから、学校行事等に使用するバスの借上料について、所要の補正を行う。					
主な特定財源						
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	地域や学校の実態を十分配慮した教育目標を設定し、家庭や地域から信頼される学校づくりを目指す。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費
所 管	教育部 社会教育課					
事 業	2354	中央図書館運営事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	4章3【豊かな心を育む教育・文化の創造】生涯にわたる学習機会の充実					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	27,093				20	27,073
補正額	50				50	
補正後	27,143				70	27,073
補正予算額の 主な内訳	図書等購入費:50千円(6,700千円) 指定寄附金の受領に伴い、寄附者の意向により、中央図書館図書の充実を図る。					
主な特定財源	社会教育費指定寄附金:50千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	生涯学習の中核施設として市民の役に立つ図書館を目指し、資料の収集・貸出を中心に図書館サービスを推進する。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

平成26年度一般会計補正予算第2号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費
所 管	教育部 社会教育課					
事 業	2356	山城図書館運営事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	4章3【豊かな心を育む教育・文化の創造】生涯にわたる学習機会の充実					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	11,846				10	11,836
補正額	550				550	
補正後	12,396				560	11,836
補正予算額の 主な内訳	図書等購入費:550千円(4,300千円) 指定寄附金の受領に伴い、寄附者の意向により、山城図書館図書の充実を図る。					
主な特定財源	社会教育費指定寄附金:550千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	生涯学習の中核施設として市民の役に立つ図書館を目指し、資料の収集・貸出を中心に図書館サービスを推進する。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	教育費	項	社会教育費	目	文化財保護費
所 管	教育部 社会教育課 文化財保護室					
事 業	2649	市内遺跡発掘調査事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	1章1【個性を活かした魅力ある地域文化の創造】歴史・文化の保全・活用					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	2,756	1,250	625			881
補正額	2,111	1,000	500			611
補正後	4,867	2,250	1,125			1,492
補正予算額の 主な内訳	馬場南遺跡発掘調査委員会委員報酬:△49千円皆減、社会保険料:△23千円減(6千円)、文化財調査員等賃金:△1,256千円減(459千円)、費用弁償:△8千円減(11千円)、普通旅費:42千円皆増、調査指導旅費:△34千円減(50千円)、発掘調査関連業務委託料:1,904千円皆増、測量調査等業務委託料:1,595千円皆増、機械借上料:△60千円皆減 国庫補助事業の追加に伴う鹿背山城跡測量調査、上狛北遺跡の発掘調査の追加等により、所要の補正を行う。					
主な特定財源	国宝重要文化財等保存整備費国庫補助金:1,000千円、文化財緊急保存費府補助金:500千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	市内の周知された遺跡の中で、今後開発の恐れが高い地域における遺跡の確認や緊急に発生する小規模開発などに対応した発掘調査を実施する。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

平成26年度一般会計補正予算第2号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	災害復旧費	項	農林水産業施設災害復旧費	目	農業用施設災害復旧費
所 管	建設部 農政課					
事 業	2501	農業用施設災害復旧事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	2章2 【地域力を活かした産業・事業の創造】 地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	1					1
補 正 額	93,181		82,946	8,100		2,135
補 正 後	93,182		82,946	8,100		2,136
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	職員手当:1,000千円皆増、普通旅費:50千円皆増、事業費支弁需用費:327千円増(328千円)、測量・設計委託料:1,350千円皆増、農業用施設災害復旧工事費:90,000千円皆増、立木補償料:454千円皆増 平成25年台風18号による梅谷新池災害復旧工事において、地盤改良、仮設道路の設置・復旧等が必要となることから、所要の補正を行う。					
主 な 特 定 財 源	農業用施設災害復旧費府補助金:82,946千円、農林水産業施設災害復旧事業債:8,100千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	被災した農林水産業施設の迅速な復旧及び再度の災害を防止する。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						